NANBU

教育目標
「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

学校だより第３号
氷見市立南部中学校
令和元年６月13日

とびきりすてきな自分になろう

校長　扇谷　孝代

日本の子供たちは、指示待ちが多く、自分の考えをもったり、目標に向けて主体的に行動したりする姿勢が乏しいと指摘されることが多くなっています。本校においても、「主体的に考え、行動し、互いに高め合う生徒の育成」を「本年度の重点目標」として掲げています。では、「主体的に考え、行動する」とは、どのような姿なのでしょうか。

先日、アメリカのドロシー・ロー・ノルトさん（家庭教育についての第一人者。「子供が育つ魔法の言葉」等の著者）が書いた「いちばん大切なこと」という詩に出会いました。これは、ドロシーさんが2005年に来日し、東京都内の公立小学校及び併設の幼稚園を訪れ、特別授業を行ったときに、児童に向けてつくった詩です。この詩の中でドロシーさんは、次の16のことを「大切なこと」として挙げました。

- 順番を守ること
- 人の役に立つこと
- 人と一緒にいる時間を大切にすること
- 自分にできることだけを約束すること
- 本当のことを話すこと
- 間違いや失敗から学ぶこと
- 正しいことをすること
- 自分の役割を果たすこと
- やると言ったことは必ずやること
- ルールを守ること
- やり始めたことは最後までやり遂げること
- 家族を大切に思う気持ちを伝えること
- 人の過ちは許してあげること
- 自分の体を大事にして体によいことを実行すること
- 一番なりたい自分になるために一生懸命頑張ること
- 自然の美しい世界をしっかりとみつめること

ドロシーさんは、この16のことを一番大切なことだと考えていたのです。そして彼女は、16の「大切なこと」の後に、必ず「そして、とびきりすてきな自分になろうね！」という言葉を付け加えているのです。

私はその中で、「一番なりたい自分になるために一生懸命頑張ろう。そして、とびきりすてきな自分になろうね！」が、「主体的に行動する」ことについてのヒントになるのではないかと考えました。

一番なりたい自分になるためにどんなことをしたらよいのか、これには正解はないと思います。けれども、一番なりたい自分になるためには、まず、自分がどんな人間なのか考えてみる必要がありそうです。そのとき、ドロシーさんの16の「大切なこと」が参考になると思います。たとえば、ルールを守っているか。人の過ちは許しているか。間違いや失敗から学んでいるかなどです。そして、少しでも今の自分がどんな自分なのかが分かったら、今度は、一番なりたい自分とはどんな自分かを考えたらよいと思います。一番なりたい自分になるためには、どんなことをどれだけしたらよいのか。それは、自分自身が決めることです。誰かから、このようにやりなさいと指示されてすることではありません。100人にいれば、100通りの歩み方があります。けれども、それぞれの歩み方は違っても、「一番なりたい自分になるために一生懸命頑張る」ということは、人としての共通の目標であるはずです。

目標に向かっていつも最善を尽くし、よりよい自分をつくりあげていきたいものです。

第68回氷見市民体育大会結果

【陸上】　男子総合３位
　共通男子４×100mR２位　松本陽生、藪下柊斗、柿本考哉、中田颯汰
　１年男子走幅跳２位　髙橋晴希
　共通女子４×100mR２位　林明日香、小森優羽、髙本莉緒、杉澤彩加
　共通女子走高跳３位　江幡風胡
　共通女子走幅跳３位　髙本莉緒　　共通女子砲丸投３位　矢田部芽衣
【新体操】　団体１位
　個人総合１位　大石実桜　　２位　東海璃子　　３位　池田楓花
　個人ｸﾗﾌﾞ１位　東海璃子　　２位　大石実桜　　３位　中村早希
　個人ﾎﾞｰﾙ１位　池田楓花・大石実桜　　３位　東海璃子
【軟式野球】　２位　　【バレーボール】　男子２位　　女子３位
【剣道】　男子団体２位
　　女子団体１位
　女子個人１位　水谷仁子
　　２位　佐藤惺香
　　３位　山内萌子
　　祖父江彩天奈

【バドミントン】　女子団体１位
　女子ｼﾝｸﾞﾙｽ１位　午房愛彩
　女子ﾀﾞﾌﾞﾙｽ１位　髙本莉緒、杉澤彩加組　　３位　越田瑞央、細川琴乃組
【水泳】中学男子：100m自由形、400m自由形、100mバタフライ１位　森蒼真（優秀選手賞）
　　中学女子：400m自由形、400mメドレーリレー、400mフリーリレー１位　村上愛

南部中学校のこの頃

○５月31日　学習公開

「開かれた学校づくり」と「小中連携教育」の一環として、本校と朝日丘小学校、十二町小学校が学習公開を実施しました。当日は50名余りの方々が、授業時間だけでなく、休み時間や給食の時間、清掃の時間、帰りの会、部活動等、学校生活の様子を参観されました。

○６月３日　避難訓練

朝日丘小学校と合同で避難訓練を実施しました。今回は火災を想定してのものでした。人員点呼のために、普段は滅多に走らない教員が全力疾走したり、本部に大きな声で報告したりする姿を見て、生徒の緊張感も一気に高まったようでした。講評では、「静かに人の話を聞くこと」と「落ち着いて行動すること」を日頃から心がけるよう話しました。秋には地震を想定した避難訓練を実施する予定です。

○６月11日　支援型訪問研修会

本校は本年度より２年間、「学力向上市町村教育プラン研究委託事業」における学力向上対策研究拠点校として、「確かな学力」の向上のための実践研究を進めることになっています。

学校では通常、一年に１回、その学校の教育目標実現のため、県教育委員会や市教育委員会が訪問して指導・助言する「通常訪問研修」が行われますが、学力向上対策拠点校においては、「支援型訪問研修」として、学力の比重の大きい研修が行われます。

当日は、午前中授業を公開し、午後の協議会において、指導主事の先生方より助言をいただきました。今後の授業に生かしていきたいと思います。

教員にとっても、学校はやっぱり学びの場なのです。